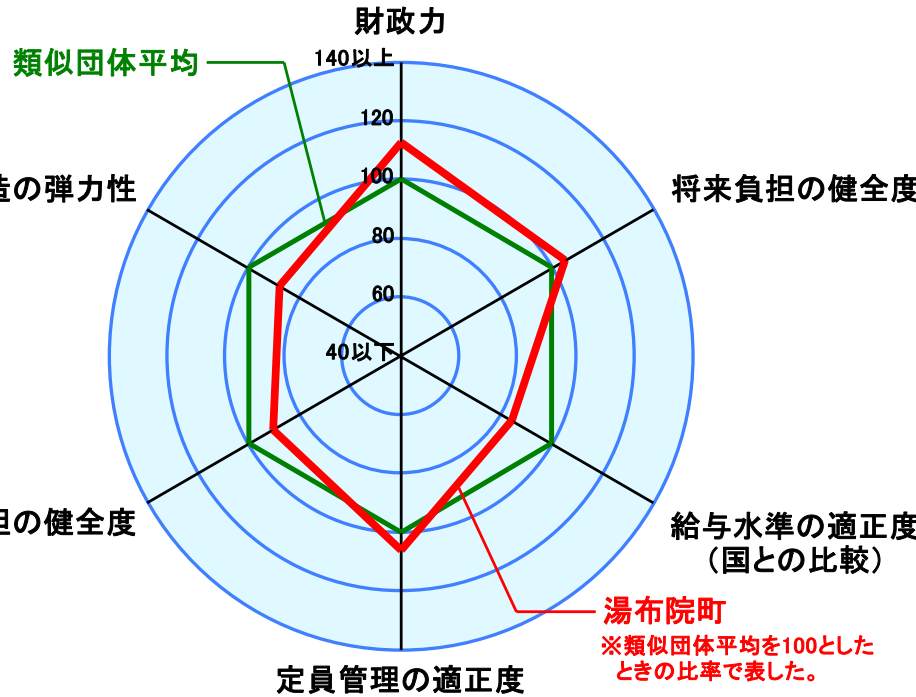
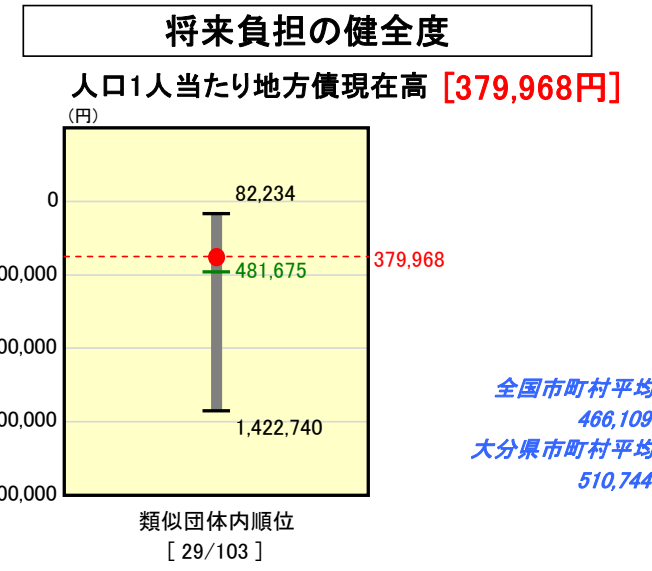
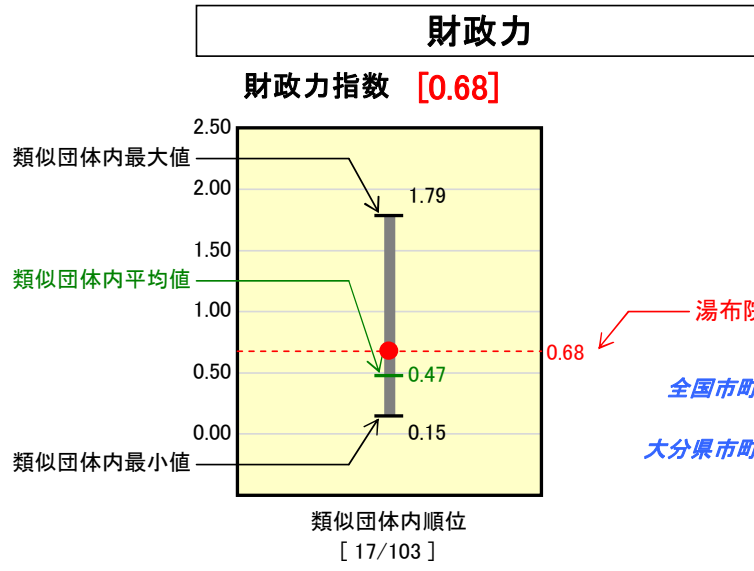


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

大分県 湯布院町

人口	11,630人(H17.3.31現在)
面積	127.77 km ²
歳入総額	4,770,236 千円
歳出総額	4,530,586 千円
実質収支	166,657 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

(財政力指数) 類似団体内では指数は高位置にあり、ここ4年間でも指数は毎年伸びている。しかしながらこの伸びは基準財政需要額の減少に因るところが大きく、財政状況は厳しい状況にある。

(経常収支比率) 経常経費の抑制策により、補助費等の環境衛生組合(一部事務組合)負担金が92,741千円増、また扶助費も制度的な要因から増となったものの、人件費・物件費・公債費はいずれも前年度を下回り、経常経費の合計では前年度より35,609千円の減となった。しかしながら、地方交付税、臨時財政対策債の大幅な減により、経常収支比率は前年度より2.5%の増となった。

(起債制限比率) 過疎債の適用を受けない本町においては、交付税の高率措置のなされない地方債が多く、起債制限比率を上げてきた。ここ数年の状況としては、償還期間の終了等により低下傾向にあるが、依然高い率となっている。このような状況から大型の投資的プロジェクトを極力抑制している。

(人口1人あたり地方債現在高) 類似団体内平均値は下回っているものの、交付税措置のなされない地方債が多いため、抑制策をとっている。後年度負担で財政運営とも密接関係にあり、現在高の削減に努めている。

(ラスパイレス指数) 国公水準は下回っているものの、類似団体平均値を上回っている。管理職手当、時間外勤務手当の削減に取り組んでいるが、今後も給与水準の適正化に努める。

(人口1,000人あたり職員数) 類似団体内平均値は下回っているが、更なる適正な定員管理に努めている。具体的には退職不補充により平成16年4月1日現在で前年より3名の減員となっている。今後も組織見直しと施設の民間委託等の取組みを積極的に進める。

